

集 会 宣 言

「権利としての社会保障の確立～私たちの取組みの成果と今後の役割～」集会宣言

私たちは、ここ広島において、全国クレジット・サラ金問題対策協議会及び全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会が、それぞれ全国クレサラ・生活再建問題対策協議会及び全国クレサラ・生活再建問題被害者連絡協議会に名称を変更して初めての交流集会を開催した。

本集会において、私たちは、これまでの運動の成果を確認した。まず、私たちは、サラ金被害が社会問題化した当初から、各地で被害者の会を結成し、被害実態を明らかにし、世論を変えていった。そして、いわゆる貸金二法の制定を勝ち取った。以後も、出資法の上限金利引下げ運動を展開し、グレーゾーン金利撤廃、貸出額の総量規制という貸金業法の完全施行を勝ち取った。

従来、「約束は守るのが当然だ。」とか「借りた方が悪いのだ。」などと声高に言われていた中、私たちは、サラ金からの借主が、サラ金三悪の被害者であることを根気強く説得していった。このような運動は、今でいう「自己責任論」との闘いであり、この闘いにおいて、私たちは、一定の成果を得た。

私たちの闘いをより根源的に捉えると、貧困からの解放であった。より広い視野を持って、今もなお貧困に苦しめられている人々を支え、寄り添い、当事者と共に、貧困問題に取り組んでいく必要がある。

ところが、今日、自分の身は自分で守るという自助や、家族、地域、企業などで支え合う共助の考えばかりが強調され、弱者に対する差別や偏見がはびこっている。他方、国や地方公共団体によって社会保障の充実を図る公助の考えは、国民の自立心を損なうなどと喧伝されている。

また、総務省の2013年7月就業構造基本調査では、非正規労働者が2000万人を突破し、全労働者数の38.2%と過去最大を更新するとともに、政府は、派遣労働者受け入れ期間の制約（最長3年）を事実上撤廃する内容に、労働者派遣法を改悪しようとしている。

そもそも、わが憲法25条は、すべて国民に、健康で文化的な最低限度の生活を保障している。それにもかかわらず、「自己責任」の名の下に、社会保障制度改革と称して、年金、医療、介護、雇用、生活保護等の、社会保障が次々と切り捨てられている。

私たちは、本交流集会に全国から集まり、わが国において貧困・格差化が進み、生活困窮者を救済する必要性が一層高まっていること、自己責任論と闘い続けてきた私たちだからこそ、生活再建、社会保障の分野でもできること、また、取り組まなければならないことを確認し、改めて現在の不合理な各種制度を見直すことを求め、以下のとおり宣言する。

1. 年金、医療、介護、雇用、生活保護など社会保障は誰もが人間らしい生活を営むために必要な、憲法 25 条で保障された人権であるから、財源不足を理由とした社会保障費の削減は許されず、所得再分配機能の強化を図る必要がある。社会保障制度の全体構想策定と、社会保障の権利性を明らかにした具体的な法律の制定を強く求める。
2. 最後のセーフティネットとしての生活保護制度の本来の機能が果たされるよう、福祉事務所の窓口規制を始めとする制度の違法・不当な運用を許さない。また、財政難を口実とする生活保護費の削減を止めること並びに生活保護基準の引下げの撤回及び老齢加算の復活を求める。
3. 政府の最低賃金目標「全国最低 800 円、全国平均 1000 円」（2010 年政労使合意）の早急な実現と、正規雇用中心の雇用形態への改善を求めるとともに、常用代替を促進する労働者派遣法改悪には断固として反対する。また、長時間労働や残業代未払等労働者に過酷な労働を強いる悪質な企業を撲滅する。
4. ギャンブル依存症患者が 536 万人にのぼるとの推計もある現状を踏まえ、ギャンブルの危険性を周知するための教育、啓発活動、相談機関や治療施設の設置など、ギャンブル依存症の予防や治療体制の充実を求めるとともに、依存症発生の新たな温床となるカジノ法案については断固として反対する。
5. 貧困の連鎖を防ぐため、貸与型中心の奨学金を給付型中心に改善し、貸与型奨学金の返済については、返済の猶予や免除制度の拡充、延滞金の廃止など利用者負担の軽減に向けた抜本的改善を求める。
6. 改正貸金業法の改悪を許さず、現状においても高すぎる利息制限法所定の制限金利の引き下げを求める。
7. 保証被害をなくすために、法制審議会において検討されている民法の改正に当たって、個人保証制度の廃止を強く求める。
8. 東日本大震災から 3 年経過してもなお、被災者・避難者への支援が十分になされていないことを踏まえ、今一度、必要な施策、立法措置を講じるよう求める。また、避難区域内外、線量等の基準で画一的に判断することなく、可能な限り被災者・避難者の個別事情を斟酌した施策を求める。

2014 年 11 月 2 日

第 34 回全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会 in 広島 参加者一同